**OIモデル契約書ver2.2タームシート**

**（ライセンス契約（大学・大学発ベンチャー）用）**

作成日：●年●月●日

作成者：●●●●

|  |  |
| --- | --- |
| 当事者 | ライセンシー：X社（甲） |
| ライセンサー：Y大学（乙） |
| ライセンス対象 | 特許第xxxxx号に係る特許出願及び当該特許出願に基づき付与された特許（以下、「本件特許」という。）にかかる発明の実施（本件特許権に係る特許出願を基礎出願とした優先権主張を伴う特許出願に係る発明、本件各特許権に関連する分割出願等に係る発明、及び改良発明の実施も含むものとする。） |
| 独占的なライセンスか否か | 独占的ライセンス（専用実施権、及び専用実施権が設定できないものについては、独占的通常実施権）ただし、* 甲が●年間対象発明を実施しない場合には、非独占的通常実施権に変更
* アカデミアの研究活動に対しては権利不行使
 |
| 譲渡予約 | * 甲が買収対象会社となるM&Aが発生した場合、以下の条件を満たせば、甲は、乙に対し、本件特許発明等にかかる出願人たる地位又は特許権の一切を甲に無償にて譲渡するよう申し入れることができる
* 乙がライセンスの対価として付与された新株予約権に応じて、甲の買収の対価について乙への分配がなされること
 |
| サブライセンス権の有無 | * 有
* ライセンス収入の●%を乙に支払う
 |
| ライセンス料の支払条件 | 現金●円と新株予約権（個数は次回資金調達時にその内容を踏まえて決定。ただし、●までに資金調達未達の場合は、●個）による支払 |
| 改良技術 | ライセンサー（乙）による改良* 通知義務有、甲が要求した場合は開示義務あり
* 乙に独占的権利を許諾、無償

ライセンシー（甲）による改良* 通知義務あり、乙が要求した場合は開示義務あり
* アカデミアの研究活動に対しては権利不行使
 |
| 外国出願 | ライセンシー（甲）が特定の国への出願を希望した場合、ライセンシー（甲）の費用負担で、ライセンサー（乙）に対し、当該国への出願を請求可能 |
| 第三者の権利侵害 | ライセンサー（乙）* 非保証
* 本特許権の侵害行為発見時の通知義務

ライセンシー（甲）* 第三者よりクレームがあった場合の通知義務
* 本特許権の侵害行為発見時の通知義務
 |
| 秘密保持 | * 秘密情報：無限定
* 存続期間：本契約終了後も5年間存続
* 乙による研究の成果発表については、守秘義務や通知義務等の一定の条件を満たせば事前承諾なしに可能
 |
| 損害賠償 | 制限無し |
| 期間 | 契約期間：●年間60日前に非更新の通知がない場合、1年間の自動更新 |
| 準拠法 | 日本法 |
| 裁判管轄 | ●地方裁判所 |
| その他 | 監査、解除（不争義務あり）、存続条項、協議解決 |